

J A あづみにおける  
「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」の取組みについて

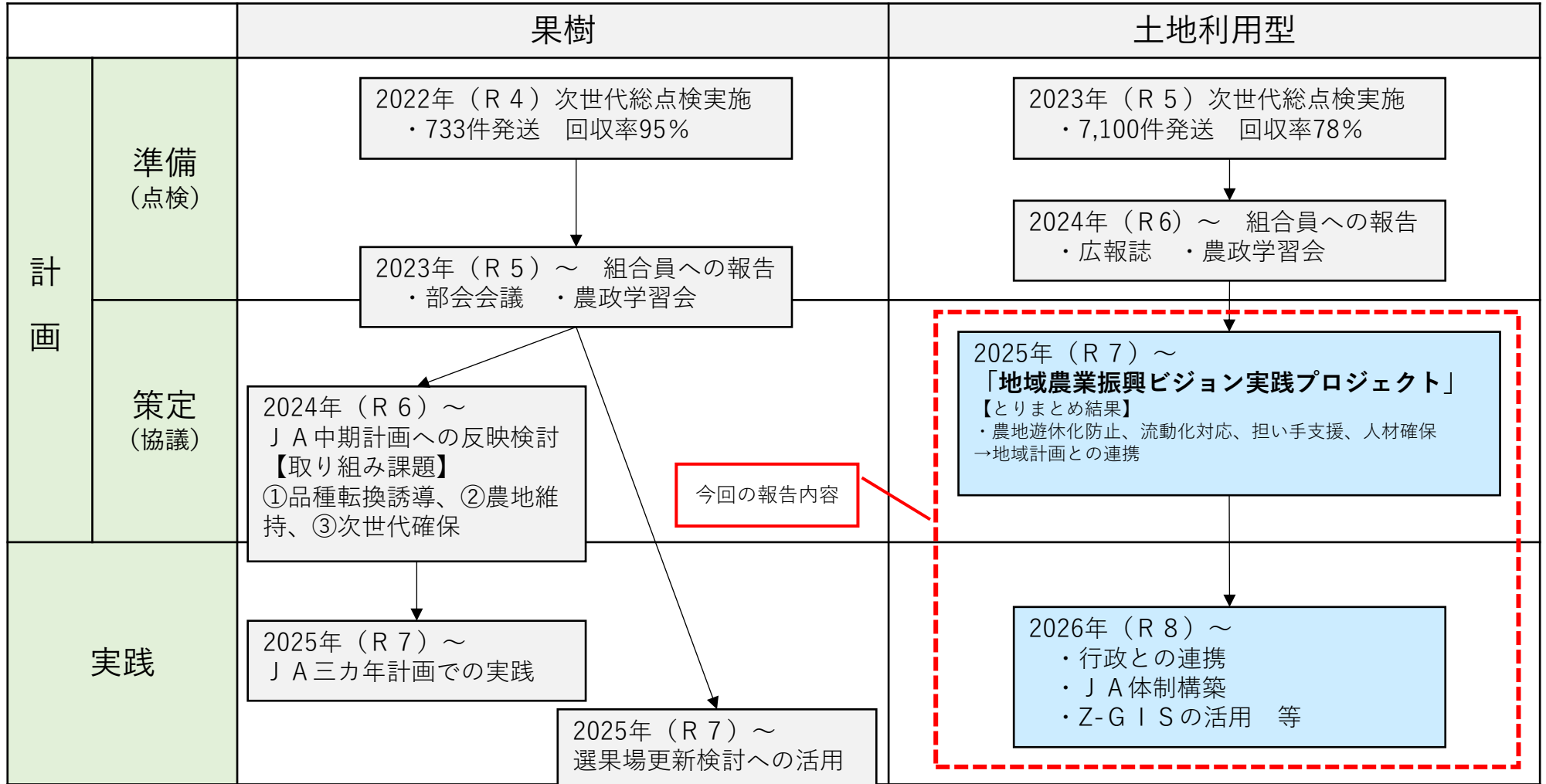
---

令和8年度 地域計画推進研修会

令和8年6月10日 J A 長野中央会

# 1. J A あづみ「次世代総点検」の取組みについて

👉 J A あづみでは組合員の将来の経営意向を調査する「次世代総点検」を果樹と土地利用型で実施して課題を把握する取組みを行う。



## 2. 「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」の経過

👉 土地利用型農業については点検結果を踏まえ、「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」を設置して対応を検討することとした。

### 【土地利用型次世代総点検結果】

JAあづみ管内全体では、10年後も規模拡大意向者によりカバーできる予測  
→機械化が進んでいることから生産者1戸で数十ha規模の拡大が可能だが、小規模生産者は離農意向が強い傾向。（規模拡大意向をもつ大規模生産者が少ない地域では遊休化リスクあり）

### 【把握された問題・課題】

→農地の利用調整を円滑に行わないと、拡大意向を持っている生産者とのミスマッチによる遊休化の恐れあり。一方、大規模生産者が少ない地域では遊休農地の発生  
の恐れあり。  
→集落営農組織では後継者不足の問題が深刻

…地域全体的な検討が必要



令和7年度「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」の設置  
当初の目的・・・次世代総点検結果を踏まえ「JAとして」何をすべきか検討する会議

ただし、議論は「遊休農地対策、農地のマッチング・調整」に・・・

👉 安曇野市農政課に参画いただく

### 3. 「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」の概要

👉 地域ごとの状況が異なることを踏まえ、「地域プロジェクト」で課題検討を行うことを基本に進めた。

#### 「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」の組織体系

広域プロジェクト

地域プロジェクト結果の集約、  
JAとしての方向性決定  
(2回開催)

【メンバー】

- ・リーダー (JA 営農担当常務理事)
- ・メンバー (JA 食糧専門委員会役員)
- ・事務局 (JA 営農経済事業部、安曇野市農政課)

地域・広域合同プロジェクト  
の開催 (2回)

地域プロジェクト

穂高・堀金・豊科  
・三郷・梓川

各地域の問題共有、対策の検  
討  
(1～3回開催)

【メンバー】

- ・リーダー (JA 地区担当理事)
- ・メンバー (JA 地区担当理事、JA 地区食糧専門委員会役員、  
集落営農組織、大規模生産者、農業委員地域長)
- ・事務局 (JA 各地域営農センター)

地域プロジェクトで認識された共通的な問題

👉 **農地が最優先問題**

- 1・生産者の経営意向把握には限界がある
- 2・相対的な調整や受け手間の調整には限界がある
- 3・(出し手・受け手とも) 誰に相談すべきか不安を感じている

地域計画を起点とした

- 関係機関の連携
- 地図の適時更新
- 利用調整の実施 (話し合い・相談窓口)

の必要性を改めて認識

### 3. 「地域農業振興ビジョン実践プロジェクト」の概要

#### 《地域プロジェクトの様子》



三郷地区



堀金地区

→目標地図を見たことがないメンバーも多く、市農政課から見方の説明をいただきながら現状を把握。

## 4. 今後の展開について

### 《地域計画との連携》

👉 具体的な連携内容は現在検討中であるが、前向きに検討が進められている。

今年度、安曇野市と連携策について検討中  
(松本市とも検討予定)

#### 【検討中の連携内容】

- ・ 農地相談会の合同開催（実績あり）
- ・ 話し合いの場への J A の参画
- ・ J A ・ 行政との農地相談情報の共有（連絡票のやりとり）
- ・ J A での農地相談窓口の設置
- ・ J A 広報誌での周知
- ・ Z-GIS情報の共有

👉 有効的な手段を模索中

### 《その他の課題》

👉 プロジェクトでは担い手支援と人材確保についても課題として認識している。

#### 【対応策】

- ・ 集落営農の再編、法人化
- ・ 既存担い手への支援
- ・ 新規就農支援
- ・ 労働力確保支援

👉 J A 取り組みを基本としつつ、関係機関とも連携

地域農業振興ビジョン実践プロジェクトは令和 8 年度も実施し、課題解決に取り組む。